

モバイルシンポジウム原稿のやさしい執筆要項

○神戸 学, 神戸 文子
港島大学理工学部

Friendly Guidelines to Complete Papers to Symposium on Mobile Interactions Manabu KOBE, Fumiko KOBE Port Island University

Abstract: The mobile phone and related services are effecting wide and quick changes to business, social and home communication. Car navigation devices and ITS(Intelligent Transport Systems) are expected to enhance safe and enjoyable driving. Great efforts have been devoted to minimize ill effects of EMI, etc., while ensuring sufficient usability. Such mobile multimedia devices have to be carefully studied not only from user's point of views but also from that of nonusers and users out of use. Social inconvenience caused by noisy call signals or talking voice, and threat to safety drive become important points of discussion. In the mobile multimedia ages, users and nonusers, driver and fellow passengers are going to share an environment. Social coordination to ensure better use of the media has to be pursuit beyond usability.

The symposium is to discuss universal, international coordination of technology and culture in mobile information ages. Proposal from manufacturer, service providers, and customers and scientists are welcome.

Research and case reports, demonstrations will be included in presentation. Symposium language is Japanese, but English session will be organized for non-Japanese presenters.

Keywords: keyword1, keyword2, keyword3, keyword4 and keyword5

キーワード: キーワード1, キーワード2, キーワード3, キーワード, キーワード5

1. はじめに

論文集は A4 版オフセット印刷で著者が自ら作成した原稿を複製します。以下の執筆要項に従って、具体的な内容をわかりやすくお書き下さい。仕上げはワープロなどを使って鮮明に作成・印字して下さい。以下の要項に合わせることが困難な方は、事務局にご相談下さい。最善の方法を工夫いたします。

2. 執筆要項

印刷用紙は A4 版白とし、余白は上下 25 mm、左右 20 mm。枚数は 2~6 枚(偶数頁)とします。原稿の各頁のフッターに頁番号(11P)を 1 から始めて記入して下さい。この数字は製版時に、事務局で貼り替えます。各頁のヘッダー/フッターは事務局で表記のように設定しますので、提出時にはページ番号を 1 から暫定的に記入しておいてください。

- 和文論題(ゴシック, 18 ポイント(P), 中央揃)
- 和文著者氏名(明朝体, 12P、発表者名に○印)
- 和文所属(明朝体, 11P)
- 英文論題(Century など, 14P, 中央揃)
- 英文著者氏名(Century, 12P, 中央揃)
- 英文所属(Century, 11P, 中央揃)
- abstract (up to 200 words, 9P, 左揃)
- English keywords (up to five)
- 和文キーワード(5個)

表1 変の数と頂点の数
(明朝, 9P, センタリング)

ゴシック	辺の数	頂点の数
三角形	3	3
五角形	5	5
楕円	なし	なし

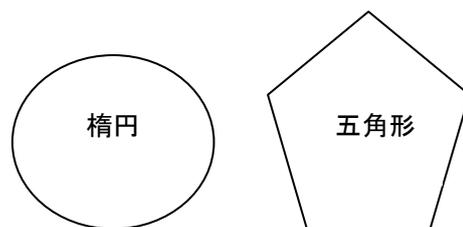


図1 楕円と五角形
(明朝, 9P, センタリング)

連名者がおられる場合、発表者には、和文氏名の左側に○をお付けください。

English abstract は省略可。以上は 1 段組みとしてください。

本文は 2 段組みで作成し、文字は 10 ポイント(P)、明朝体を原則とする。章の番号、タイトルは 10.5p、ゴシック体、センタリングとします。英数字にはピ

タッチ可変(proportional font)の字体をお使いになるよう勧めます。和文にもピッチ可変フォント(MSP明朝、MSPゴシックなど)が使われると良い仕上がりがえられます。

和文の強調箇所には、ゴシック字体を用いる。太字、Boldを使うと文字がつぶれて、読みにくい場合がある。

2.1 図表の記入

図、表にはタイトル(明朝, 9P, センタリング)を付けてください。和文、英文の両方のタイトルを付けても結構です。図、表の番号は、それぞれ、図 1, 図 2, …, Fig. 1, Fig. 2, …, 表 1, 表 2, …, Table 1, Table 2, … のように通し番号とする。

3. 参考文献など

本文に続いて、(謝辞、)参考文献、(著者紹介)を配置する。(括弧)で示すものは、ページに余裕がある場合に、随時付け加えるべきものである。

3.1. 引用

本文中での参考文献の引用は引用箇所に[1], [2], [4-6]などをつけてください。

3.2 文献の記載

参考文献は本文の末尾にまとめてください。雑誌の場合[1]は、著者名、題目、雑誌名(略記にて可)、巻(太字)、号、ページ、発行西暦年を、書籍[2]の場合には、著者(または編者)名、書名(編者)、発行所、ページ、発行西暦年の順に記載してください。なお、著者(または編者)名の後はコロン「:」、題目そのほかの区切りはカンマ「,」とし、発行西暦年は小括弧「()」で囲んでください。

著者(または編者)名は、和文の場合[4]、姓のみ列記し、カンマ「,」で区切ってください。著者が多い場合には、代表的な著者名を記載し、その他の著者名を「他」で省略することができる。英文の場合[5]には、「姓、名のイニシャル、」を列記し、カンマ「,」で区切ってください。著者が多い場合には、和文の場合と同様に「et al.」で省略することができます。

(記載例)

- [1] 著者: 表題, 雑誌名, vol. 3 (号), pp.1-10 (2001).
- [2] 著者: 表題, 編集者, 書籍名, 巻, pp.1-10, 出版社 (2000).
- [3] 著者: 書籍名, pp. 1-10, 出版社 (1999).
- [4] 前川, 能瀬, 赤松: 次世代移動情報のヒューマンインタフェース、カーナビ・携帯電話の利用性と人間工学, pp. 177-184, 日本人間工学会関西支部 (2000)
- [5] Farley, W. and Smith, R.N.: Mobile Interactions in Agriculture, Human Computer Interaction, vol. 3, pp. 112-120 (2001)

4. 原稿の提出

原稿は下記 3 種を併せてメール送信して下さい。

1. オリジナル原稿 (PDF ファイル)
2. Word 等のデータファイル
3. 著作権譲渡書 ※PDF 可

お送り頂いた原稿は、データファイルを使って頁番号等の書式調整を事務局でさせていただきます。

著作権譲渡書は不正コピーなどが発見された場合に学会として対抗するためのもので、原著者が同著作物を再利用することに異議を申し述べることはありません。複数執筆者による著作物の場合、その内の一人が代表執筆者となって署名してください。

著作権譲渡の用紙に該当事項と代表著者の署名、署名日を記入して、紙の場合は Fax または郵送で、PDF ファイルの場合はメールにてお送り下さい。

原稿締切日は 2008 年 4 月 30 日(水)必着です。

締切日を過ぎますと論文集に掲載できなくなります。

5. 発表用投影機材について

発表時に使用する資料は、液晶プロジェクタによる投影を予定しております。パソコン・ビデオカメラなどは発表者ご自身でご用意ください。変換ケーブルを必要とする場合はお忘れなくご準備下さい。

会場には、以下のような機器が設備されております。ご希望がございましたら、手続きをとる必要もありますので事務局にも間違いなくご連絡下さい。

5.1 OHP の使用

OHP を必要とする場合は、事前に事務局にお知らせ下さい。

5.2 ビデオ再生について

パソコン以外の機器出力を信号源としてビデオ投影することも可能ですが、DV デッキについては、ご持参下さるようお勧めします。VHS、ハイビジョン再生が必要な方は、準備の都合上、事前に事務局までご照会下さい。

6. 問い合わせ・原稿送付先

締め切りに遅れないよう、お願いいたします。

何か不明な点がありましたら、事務局までお問い合わせください。

〒650-0046

神戸市中央区港島中町 6 丁目 14 番地

ポートピアプラザ C 棟 1803 号

特定非営利活動法人モバイル学会事務局

E-mail: mgo@mobilergo.com

Web: <http://www.mobilergo.com/>

Phone+fax: 078-303-1560